受信欄

皆さんの要望に答えて恩師の先生方の近況だよりを特集しました。今回は十八人の先生がたがお寄せ下さいましたので、本校ご着任順に掲載致します。尚次号（来年）でも継続掲載の予定です。

（　）内本校在職期間

○中熊清（英語担当）
（昭和22・11～28・9）
青葉会も五十周年とのこと益々御盛になるよう心から祈り上げます。思えば旧校舎の薄暗い教室で皆和気あいあいと勉強したことを想出します私も昭和四十五年定年になって三田の全定合せて二十三年で退職しましたが同時に八年間青山学院大学理工科に勤め併せて神田の開拓社から「現代英和中辞典の編集を十年余つとめましたが、昨冬のきびしい寒さに健康を害し、いまは家に引きこもっています。どうか皆様も御自愛なさってますますお元気でおすごし下さい。会員の皆様に何卒よろしくお伝え下さい。

○宮川亮一（物理・数学）
（昭和23・10～35・3）
67才、日本科学技術情報センターという所に嘱託で勤めています。67才では考えを集中させて理輪に取くもうとすると、拡散し、また疲れもして頭が全然うけ付けません。新しいことを断片的に辞書的に覚えたり、外国語の語いをふやすことはできます。勤務先が国会議事堂前にあり、同窓生の方に時々お合いします

恩

古い人の名前はすぐ他校の新しい人のときに出てきますが、名前がすぐには出ません。お会いしたら声をかけて下さい。大変なつかしいですから。

○寺師節子（保体）
（昭和24・5～44・3）
勤務＝杉野女子大学
家族＝地主・家主・バディ（犬）何度訂正しても二十年前の住所で届く青葉会（本当に申訳けありません。今後訂正します）いつまでもお心にかけて下さいましてありがとうございます。御発展を祈ります。秋になると、練馬ではもう売ってない暖炉の薪を麻布併せて神田の開拓社から「現代英和中辞典の編集を十年余つとめましたが、昨冬のきびしい寒さに健康を害し、いまは家に引きこもっています。どうか皆様も御自愛なさってますますお元気でおすごし下さい。会員の皆様に何卒よろしくお伝え下さい。

○松尾正恒（社会）
（昭和29・3～39・3）
23日は韓国交流団の一員として隣国に行って居りますので欠席します。昭和22年以来37年間、うち31年間都立高校の教員をして参りましたが、今年三月に退職し、今は私立の学園に講師として勤務して居ります。三田時代の生徒諸君は本当に良く頑張りましたね。皆さんの社会でのご健闘を祈って居ります。

○池田稔明（保体）
（昭和33・6～38・3）
毎年バレーボールの新人戦が予定されているため、折角ご案内を頂きながら出席できず残念です。在職当時、若さだけが取り柄だった私も中、高、大学生の二人の親になりあれからもう二十数年たっていますが、教室や修学旅行やクラブ活動などでの諸先生や生徒諸君のあの顔、この顔が懐かしく思い出されます。

○岡部清（社会・地理）
（昭和37・4～43・3）
いつも連絡をいただき本当に有難うございます。先日友人の見舞で隣りの専売病院に行きましたが、学校はもとより、周囲の大きな変化におどろき、時の流れを感じました。もう三田を離れて16年が過ぎています。現在郊外の農業高校で元気に勤務しております。なお想親会の出欠ですが当日職員旅行で群馬県に出かけておりますので皆様によろしくお伝え下さい。次の機会を楽しみにしております。

師

○須磨一彦（数学）
（昭和37・9～42・3）
ザルツブルグは裏（絵葉書）にありますように古い教会の町です。オーストリア・アルプスが数キロのところまで迫っています。ここでの生活の基本的な目的は、生きたドイツ語を学ぶことですが、山あり、音楽あり、歴史ありという場所ですから、そちらの方も十分楽しみたいと思って居ります。先日10日間の短いヨーロッパ旅行をしましたが、パリの小林君（42年）フランクフルトの滝口君（42年）とも留守で会えなかったのは残念でした（昭59・6・25）（現在中央大学教授。大学からオーストリアに派遣留学中）

○田崎哲郎（日本史）
（昭和37・9～39・3）
現在愛知県豊橋市におります。愛知大学文学部で日本史（近世・近世史）を担当しています。昨年、内地留学で東京にいました折、担任したクラスの諸君（昭39年卒）とクラス会を持ちました。同学年の人々は同窓会への連絡が弱かったようですが、積極的な参加を申し合せました。

○尾本清（国語）
（昭和38・4～46・3）
毎年この日は本校にも関係あるのですが、都児童会館で定時制文化祭演劇の部の手伝いに出ていますので、今年も欠席致します。本当に残念です。

の

私事ですが、昨年十一月孫をもつ身となり、つくづく年寄ったものだと実感しました。

○菊地堯（倫社）
（昭和39・4～45・3）
三田には30才代後半おせわになりました。昭和45年都立国分寺高校に転出、倫理、社会教育の研究に微力をつくしてきました。昭和55年都立日野台高校開設要員として転出新しい学校づくりに参加しました。昭和58年都立小平西高校教頭を拝命、微力ながら努力しています。現住所には昭和48年からですが徐々に都市化が進んでいますが、まだまだ田舎です（狭山市在住）

○春山秀雄（英語）
（昭和39・4～43・3）
懇親会のお知らせをいただきありがとうございます。もう十七年近い昔になるでしょうか〝オセンチ山〟〝螢光灯〟を思い出します。当時はまだ給食に脱脂粉乳が使われていました。日直（夜直というのかな？）で夜校舎の見廻りをした時、講堂が暗くて気味が悪かったこと、近くの病院の霊安室の灯りが闇の中に浮き上ってドキドキしたことを思い出します。当時の生徒の皆さんは一生懸命でしたので、何とか力になってあげたいと思いつつ非力で申しわけなく思っています。卒業生の方々何人かとは今でも時々お会いしています（現在校東京都立大学附属高校全日制）

○豊成敏隆（数学）
（昭和42・4～47・3）
勤めています学校は他との交流のなどころですほとんどない閉鎖的

近

航空工業高等専門学校勤務）が学生の勉強につき合って遅くまで残ったり、同僚とハイキングに行ったり、楽しく過しています。

○福田勝男（国語）
（昭和43・4～47・3）
八王子に転居して二年半、小高い山に囲まれた緑の多い所です。先日市内を走るバスの中でご婦人から声をかけられた。お子さんを二人連れておられ、どなたかと思っておお話しているうちにやっと尾本先生のクラスの生徒だった永井律子さんでした。今は保母をされているそうですが、たいへん懐しくうれしいひと時でした。卒業生の皆さんどしどし声をかけて下さい。

○会田美奈子（地理）
（昭和43・4～47・3）
昭和四十一年～四十六年の六年間在職して居りました。現在の校舎の改築前で、オセンチ山や古い校舎の夜景は、ロマンチックなたたずまいさえ感じられました。職員室は伝統的な気品があり、生徒は真摯で在職中、楽しく過させていただいたことを感謝しております。

紅葉川高、清田高を経て、五十六年希望退職、家庭人に戻りました。夫と娘（大学二年、声楽専攻）愛犬チャーリー（マルチーズ）共々、無事立穏に暮しています。料理、製パン、日本画等を相次いで稽古し、日本画は鎌倉近辺の展覧会に毎年出品しています。

卒業生の皆さん、遊びにいらしてくだされば美味しいアンパンを御馳走しますので、何卒！

○石田五男（英語）
（昭和44・4～48・3）
折角招待を頂きながら、都合がつきませんので欠席させて頂きます。申訳けあります。

況

なお現在、都立南野高校（多摩市）に勤務、家族は高一の娘がいて三人です。テニスと碁（六段）で健康で、退屈しない日日を送ってます「下流」の「中」でしょうか。

○正角良子（保体）
（昭和46・4～50・3）
現在は小金井市にあります都立小金井北高等学校に勤務いたしております。（新設五年目の新しい高校です）住所は府中市に移りました。府中刑務所のすぐそばです。遊びに来て下さい。相変らずまっ黒になって生徒とはしゃいでおります。全然年をとってないよ。みんなと別れた時のままです。……？

○風間徹也（化学）
（昭和48・4～51・3）
現在都立東村山高校で、三田より移ってからはや九年目となりました。まだ校内マラソンや運動会の一五〇〇競走では生徒と走っても上位をねらえる体力と気力を持って頑張っております。家にいて時々夕食時になると、なつかしい定時制時代の給食を思い出して子供達（三人）にその当時の話を聞かせております。

○山下紘一郎（日本史）
（昭和50・4～55・3）
この春卒業生を送り出して今年度担任から解放され、またクラブ顧問も荒い剣道部から、牛命には別状なく、かつ女子部員ばかりの箏曲部にかわりましたので（お琴とお前のイメージはどうしても結びつかないと悪口をいう人もおります）近年になく気楽な教員生活を送っております。細々と続けてきた柳田国男の研究をこのゆとりを活用してまとめあげているところです。（現在校都立駒場高校（全））

○山川重雄（倫社）
（昭和45・4～50・3）
今年から母校熊谷高校に移り、三年の倫理担当し、ノンビリやっています。自分の勉強もボチボチです。一人娘もようやく五才になりました。

（一面ヨリ）訴えた。次で名誉会長である吉松校長が三田の伝統等お話下さった後型通り経過報告、会計報告等承認され終了。直に懇親会へ移る。

懇親会

青葉会顧問中村先生の音頭で全員乾盃、懇談に入る。初め、同期同志それぞれのテーブルを囲んだが、その間先輩・後輩の処に移る者、旧師に近況報告をする者等、歓談つきる処を知らない様であった。

会中はスライド映写、説明は石関先生が担当された。昭和七年の第一回卒業写真から昭和三十年代に及ぶ約八十枚の写真をうつす。自分の卒業年になると食い入るように目をこらす者もあり、スライド映写は予想以上反響があった。

その後旧師を代表して小沢先生（第三代教頭昭和43～51年ご在任、現順天高校長）のスピーチがあり、懇談会はますます盛上り、自慢ののどを披露する者も現れ、和気あいあいのうちに、来年の再会を約束し乍ら四時過散会。